

久米南町 ため池 ハザードマップ (釜ヶ谷池)

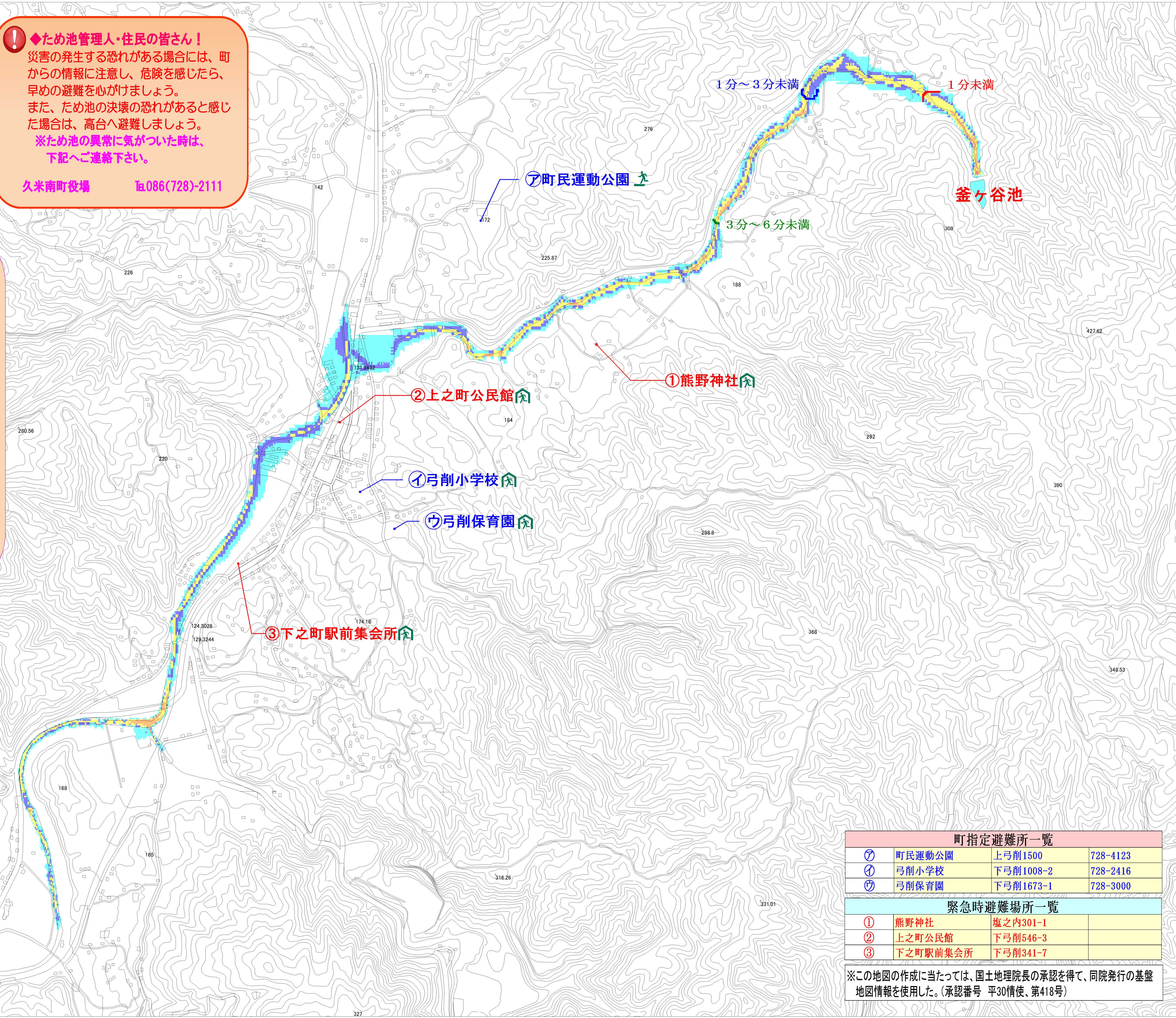
❗ ◆ため池管理人・住民の皆さん！
災害の発生する恐れがある場合には、町からの情報に注意し、危険を感じたら、早めの避難を心がけましょう。
また、ため池の決壊の恐れがあると感じた場合は、高台へ避難しましょう。
※ため池の異常に気がついた時は、下記へご連絡下さい。

久米南町役場 ☎086(728)-2111

ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、ため池が決壊（けっかい）する恐れがある場合や、万が一決壊した場合に、住民の皆さんの自主的な早めの避難に役立つように作成したものです。
この地図の浸水域は、万が一ため池が決壊した場合、水に浸かる地域、水深及び到達時間を示しています。
避難する場合には、併せて河川の氾濫や土砂災害の発生にも十分注意して避難してください。
また、浸水想定地域以外の地域でも浸水の危険があるので、決して安心せず、早めの避難をお願いします。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家からの避難場所までの経路や家族の連絡先などを確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し危険を感じたら自主的に避難を心掛けましょう。
- 皆さんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。



マップの色分けと水深想定区域の見方

浸水した場合に想定される浸水		浸水の目安	
氾濫流浸水深		●7階の軒下までつかる 程度……………5.0m	
5m以上		●1階の軒下までつかる 程度……………2.0m	
2m ～5m未満		●大人の腰までつかる 程度……………1.0m	
1m ～2m未満		●大人の胸までつかる 程度……………0.5m	
50cm～1m未満			
50cm未満			

町指定避難所一覧			
⑦	町民運動公園	上弓削1500	728-4123
④	弓削小学校	下弓削1008-2	728-2416
⑤	弓削保育園	下弓削1673-1	728-3000

緊急時避難場所一覧			
①	熊野神社	塩之内301-1	
②	上之町公民館	下弓削546-3	
③	下之町駅前集会所	下弓削341-7	

※この地図の作成に当たっては、国土地理院長の承認を得て、同院発行の基盤地図情報を使用した。(承認番号 平30情使、第418号)

ため池ハザードマップ

ため池ハザードマップは、ため池が決壊（けっかい）する恐れがある場合や、万が一決壊した場合に、住民の皆さんの自主的な早めの避難に役立つように作成したものです。

この地図の浸水地域は、万が一ため池が決壊した場合、水に浸かる地域、水深及び到達時間を示しています。
避難する場合には、併せて河川の氾濫や土砂災害の発生にも十分注意して避難してください。
また、浸水想定地域以外の地域でも浸水する危険があるので、決して安心せず、早めの避難をお願いします。

- 日頃から家族やご近所で災害への対応について話し合い、家からの避難場所までの経路や家族の連絡先などを確認しておきましょう。
- 浸水の発生しやすい場所や状況を日頃から把握し危険を感じたら自主的に避難を心掛けましょう。
- 皆さんが災害について関心を持ち、いざという時に落ち着いて行動ができるよう、日頃から災害に関する正しい心構えを身につけておくことが大切です。

日頃からため池を管理しましょう

■ため池の草刈

- ◆堤体上の雑草は、ため池の亀裂や陥没、変形、モグラの穴などの変状を確認する上で妨げになります。年に数回程度は草刈りをしましょう。
また樹木類は幼木のうちに必ず伐採しましょう。

■漏水の確認

- ◆漏水等の確認のため定期的な巡視を行いましょう。漏水があっても直ちに危険ということにはなりませんが、堤体材料が混じった濁りが見られた場合は特に注意が必要です。
貯水位を下げて町へ相談してください。

■余水吐の管理

- ◆余水吐はため池の規定水位を保つため施設であるため、余水吐に土のうや角落とし等で堰上げをし、貯水量を増大することはため池の決壊を招く恐れがありますので、絶対にやめましょう。また、余水吐に流木や浮遊ゴミがある場合や草等が茂っている場合は、洪水の流れを妨げますので除去しましょう。

■貯水位の適正な管理

- ◆長期間にわたり落水していると堤体に亀裂が生じることがあり、この状態で急激に貯水位を上昇させると浸透水で破堤する場合があります。逆に満水状態から急激に貯水位を低下させると堤体がすべりを起こすことがありますので適正な管理をしましょう。

異常に気がいたら**久米南町役場**へ連絡してください。

(086) 728-2111

※ため池の異常にいち早く報告してくれる
ため池管理人が必要！

ため池の決壊

地域によって異なりますが、1時間に20ミリ以上、また降り始めから100ミリ以上の雨が続いたら、災害の危険性が高くなります。
浸水対策を含め、十分な警戒が必要です。

地震による決壊は、地震の揺れを原因として一気に起こる場合と、しばらく時間が経過した後起こる場合があります。

大雨や局地的豪雨、地震があった場合に、ため池の監視を行う際は、安全確保のため必ず2人以上で行ってください。

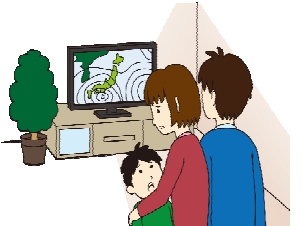
※大雨の時は、河川の氾濫や河川堤防の決壊、土砂災害も同時に起きる可能性があります。



災害時の備え・注意点

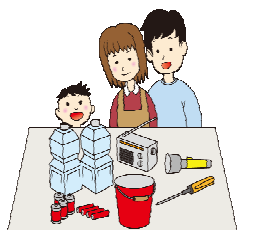
家庭内では

- 気象情報や、防災関係機関等の広報をよく聞いておきます。
- 状況によって、遠出や外出は中止します。
- 避難場所について再確認します。
- 勤務先にいる家族などと連絡を取り、非常時に備えます。
- 家財道具・食料品・布団・衣服など生活に欠かせないものを、安全な場所へ移動します。



用意しておくものは

- 3日分以上の非常食（調理不要なカップ麺やレトルト類）、飲料水を用意して、断水や濁り水に備えます。
※飲料水は乳幼児や病人がいる家庭では特に必要です。
- 懐中電灯を家族に応じて準備します。また、正しい情報を聞くためにラジオの用意もします。
※予備の電池も忘れずに。
- 大工道具も用意しましょう。



事前の情報収集で、余裕を持った行動をしましょう！